

Overview

2008 クライスラー社 コンセプトカー

先進技術と驚異のエモーショナルデザインを融合 プラグインハイブリッド電気自動車がいちだんと進化

- クライスラー・eco ポイジャー コンセプト
 - 電気自動車に燃料電池レンジエクステンダー(航続距離延長装置)を搭載
 - 独特でエレガントなアメリカンデザイン
- ジープ・レネゲードコンセプト
 - 電気自動車に BLUETEC ディーゼルによるレンジエクステンダー(航続距離延長装置)を搭載
 - 「スタイリッシュグリーン」でサステナブルなジープデザイン
- ダッジ・ZEO コンセプト
 - 100 % 電動走行で航続距離 250 マイル(402 km)を達成
 - クルマ好きのための 4 人乗り「2+2」スポーツカー

情熱的なデザインを先進推進システムに融合したクライスラーの 3 台のコンセプトカー。代替燃料で走れるだけでなく、エキサイティングなデザインを備え、ブランドの性格を強調した高度で革新的なクルマが誕生しました。

クライスラー社では、環境に対するいっその責任を果すことを使命とし、将来のラインアップの方向性についても大幅な見直しを進めています。自動車業界では技術的にはどのメーカーも大きな差が見られないことから、クライスラーにとってこれまでと同様、デザインの面でいかにして他社のクルマと差別化するかが課題となっています。クライスラーはこのような状況においても引き続きエモーショナルなデザインを生み出し、人々が是非オーナーとして運転したいと思うようなクルマを提供していかなければなりません。

そこでクライスラーでは、デザインに対する情熱を前面に押し出すことを課題としました。クライスラー、ジープ、ダッジ 3 ブランドの 2008 年コンセプトカーは、この情熱を上のような未来技術と融合させることで生まれたものです。

これらの技術はいずれもユーザーが直接体験できるもので、走りのパフォーマンスを大きく高めるものであることが必要です。また、いずれも最適なパッケージングにより、すぐれた快適性と機能性を実現することも要求されます。

クライスラー、ジープ、ダッジの 2008 年コンセプトカーは、これらの先進パワートレインによって実現するはずの独自のパッケージングとデザインの可能性を生かしたものとなっています。

新型クライスラー・eco ボイジャー コンセプト、ジープ・レネゲード コンセプト、ダッジ・ZEO コンセプトはいずれも新しい技術の最大のメリットを生かすとともに、お客様が重視する室内の広さや快適性、スピード、スタイルと融合したもので、乗る人は単純に走りを楽しんでいる時でさえ、環境に配慮したクルマであるという事実に満足できます。

2008 年北米国際モーターショーに向けたこの 3 モデルをデザインするに当たって、クライスラーのデザインスタジオでは、新しく生まれつつある顧客層や需要が拡大している顧客層などさまざまな層の動向を検討し、このようなお客様のニーズや期待をクライスラー、ジープ、ダッジが掲げるブランドバリューに重ね合わせることで、全体として最もふさわしいモデルを作り上げることを目指しました。その結果、各ブランドにまったく新しい情熱的なデザインが生み出されたのです。

トレバー・クリード
デザイン担当 上級副社長
クライスラー社